

変わらない思いのために変わり続ける。 わたしたちはそれを、「挑戦」と呼ぶ。

入社直後に渡されたハンドブックの冒頭に、なにかの標語にも似た一文が記されていました。

「わたしたちは、地球的視野に立ち、世界中の顧客の満足のために、
質の高い商品を適正な価格で供給することに全力を尽くす」

当時のわたしには少しばかり照れくさく、それでいて、
気持ちを奮い立たせてくれるHondaのフィロソフィーでした。
やがて、Hondaを代表するグローバルモデルの開発を任されたわたしは、
このクルマこそフィロソフィーの実体ではないかと考えるようになりました。
人と社会との調和を掲げ、生まれながらにして世界をめざした質の高い商品。
世界中の顧客と時代の要請に応え多様に姿を変えてきたクルマ。
その歩みの確からしさは、
120以上の国と地域で累計200万台*を超える販売実績からも明らかでしょう。

10代目という節目を開発するにあたり、わたしたち開発者が誓ったことは、
まさに、「世界中の顧客の満足のために全力を尽くす」ということでした。
そのために、プラットフォームをゼロからつくりあげてまで「クルマの在るべき姿」を追求。
完成させたクルマは、北米やアジアなどで30以上のアワードに輝き、
グローバルセダンとしての揺るぎない資質を証明しました。

40有余年10代にわたる挑戦の集大成を、日本のみなさまへ。



宮原 哲也(みやはら てつや)
(株)本田技術研究所 主任研究員

1993年、(株)本田技術研究所入社。
7代目アコードシリーズ以降のシャシー設計を継続して担当。2012年から新型セダンプラットフォームプロジェクトの開発責任者を務めたのち10代目ACCORDのLPL(開発責任者)に就任。趣味はゴルフとドライブ。愛車はS2000とオデッセイ。

* 2020年2月現在、Honda調べ。